

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	千葉剛成
	全体計画			経費区分	-	内線	3622
事務事業名	4315 文化財保存活用事業						
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課						
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費					
	事業	020000 文化財保存活用事業					
事業目的				事業概要・効果			
文化財を、本来の姿に近いかたちで後世に伝えるとともに、その文化財が、市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び、指定文化財の公開を行い、すべての情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。				市ホームページ・各種メディアへの情報発信や、旧園里学校の臨時開館や各種講演などによる文化財の活用を行う。またデジタルアーカイブの作成や旧越家住宅の維持管理等により文化財を保護し、併せて文化財の保護とする。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
各種情報発信と文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。また、第1回八丁鎧塚まつりの開催にあわせて、同古墳公園整備（案内板の修繕等）を行った。	各種情報発信と文化財の維持管理と活用により文化財の保護を図った。旧園里学校の桜の時期に土日祝日を臨時開館し、管理業務を地元組織に託した。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
各種情報発信と文化財の維持管理と活用により文化財の保護を図った。また、今後の保存活用に資するため、旧小田切家住宅等所蔵品整理作業を行った。	各種情報発信と文化財の維持管理と活用により文化財の保護を図った。特に「堀直虎」没後150周年記念事業に向け著名な作家による歴史小説の刊行と講演会を開催した。また、旧小田切家住宅等所蔵資料の整理作業や、文化財保存活用倉庫の取得と改修を行った。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
各種情報発信と文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図るが、平成26年度は特に善光寺御開帳や伊能忠敬など時節のテーマによる文化財活用に取り組む。	各種情報発信と文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図るとともに、時節のテーマによる文化財活用に取り組む。

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		98,692	15,463
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	78,962	0
	その他	2,618	223
一般財源		17,112	15,240
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	1.7	2.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,429.0	3,429.0
	嘱託職員	4,632.5	7,085.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	8,061.5	10,514.0
市民一人当たりの経費		2.0	0.5
総額		106,753.5	25,977.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	732	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼。文化財調査謝礼。堀直虎などの講演会等各種講座の講師謝礼。旧小田切家住宅等所蔵資料の整理作業。
11節 需用費	7,691	古文書等保存用収納箱の購入や文化財各種修繕など。堀直虎に係る歴史小説の購入。旧越家住宅光熱水費。
13節 委託費	4,687	文化財映像保存記録委託、樹木の剪定伐採や旧越家住宅等の文化財維持管理に係る委託、文化財保存活用倉庫設計委託
15節 工事請負費	34,440	文化財保存活用倉庫改修工事
19節 負担金補助及び交付金	562	文化財保存活用補助金。
その他	50,580	公有財産購入費(倉庫取得)など

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	714	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼。文化財調査謝礼。各種講座等での講師謝礼。
11節 需用費	3,304	古文書等保存用収納箱の購入や文化財各種修繕など。旧越家住宅光熱水費。御開帳記念展示会開催に係るチラシ等の印刷
13節 委託費	5,257	文化財映像保存記録委託、樹木の剪定伐採や旧越家住宅等の文化財維持管理に係る委託。文化財保存活用倉庫に係る燻蒸及び警備委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,469	文化財保存活用倉庫下水道受益者負担金。文化財保存活用補助金。
その他	4,719	運搬費（倉庫への搬入）など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	文化財保護に係る各種法令及び条例による文化財保護を行う必要がある	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市内の貴重な文化財等の保存活用を行うとともに、積極的な情報発信を行ったことにより、市の歴史や文化財等に対する市民の関心が高まり、愛着心の向上や誇りの醸成が図れた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	各種助成制度の活用による事業実施やパブリシティ、ツイッター等により費用をかけない情報発信も積極的に行い、効率的な事業執行に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

各種文化財の保存活用とともに、平成25年度は市が所蔵している文化財等の保存と活用のために倉庫を取得し、保存環境等に配慮した改修工事を行って文化財保存活用倉庫の整備をした。

さらに「堀 直虎公」没後150周年記念事業に向け、著名な作家に歴史小説の刊行を依頼し、記念講演会を開催した。また、緊急雇用創出事業を活用して旧小田切家住宅等所蔵資料の整理作業を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>市内の貴重な文化財等の保存活用を行うとともに、積極的な情報発信を行ったことにより、市の歴史や文化財等に対する市民の関心が高まり、愛着心の向上や誇りの醸成が図れた。</p>		<p>多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくりのため、文化財の保存活用は重要な取組みである。更なる情報発信に努め、市民が身近に感じられるよう工夫する必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
外部評価コメント	
<p>（評価概要）文化財を活用しながら保存するための広報の検討を。中でも、後世に伝え受け継ぐため、若い人たちに文化財の素晴らしさを伝えるべき。市民と共に文化財を活用する動きを創っていただきたい。</p>	